

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 2 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公開番号】特開 2000-263271 (P2000-263271A)

【公開日】平成 12 年 9 月 26 日 (2000.9.26)

【出願番号】特願 2000-3698 (P2000-3698)

【国際特許分類】

**B 2 3 K 26/06 (2006.01)**

**G 0 2 B 26/10 (2006.01)**

**H 0 5 K 3/00 (2006.01)**

**H 0 5 K 3/46 (2006.01)**

**B 2 3 K 101/42 (2006.01)**

【F I】

B 2 3 K 26/06 E

B 2 3 K 26/06 C

G 0 2 B 26/10 1 0 4 Z

H 0 5 K 3/00 N

H 0 5 K 3/46 X

B 2 3 K 101:42

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 14 日 (2005.11.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

レーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に配置し、前記光路偏向手段により加工部に入力するパルス状のレーザ光の波形を略矩形波に形成してレーザエネルギーを制御することを特徴とするレーザ加工方法。

【請求項 2】

レーザ発振器から発振された 1 個のパルス状のレーザ光を時分割し、時分割したパルス状のレーザ光を加工部に照射することを特徴とする請求項 1 に記載のレーザ加工方法。

【請求項 3】

1 個のレーザ発振器から出力されるレーザ光を複数の加工ヘッドに供給するようにしたレーザ加工機において、

前記加工ヘッドの数と同数のレーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に直列に配置し、パルス状のレーザ光の波形を略矩形にして前記加工ヘッドのいずれか 1 個に供給するように構成したことを特徴とするレーザ加工機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するため、請求項 1 の発明は、レーザ加工方法として、レーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に配置し、前記光路偏向手段により加工部に入力するパルス状のレーザ光の波形を略矩形波に形成してレーザエネルギーを制御することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 8】

また、請求項 2 の発明は、請求項 1 において、レーザ発振器から発振された 1 個のパルス状のレーザ光を時分割し、時分割したパルス状のレーザ光を加工部に照射することを特徴とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 9】

また、請求項 3 の発明は、1 個のレーザ発振器から出力されるレーザ光を複数の加工ヘッドに供給するようにしたレーザ加工機において、

前記加工ヘッドの数と同数のレーザ光の光路を偏向可能な光路偏向手段をレーザ光の光路に直列に配置し、パルス状のレーザ光の波形を略矩形にして前記加工ヘッドのいずれか 1 個に供給するように構成したことを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 3

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 4

【補正方法】削除  
【補正の内容】